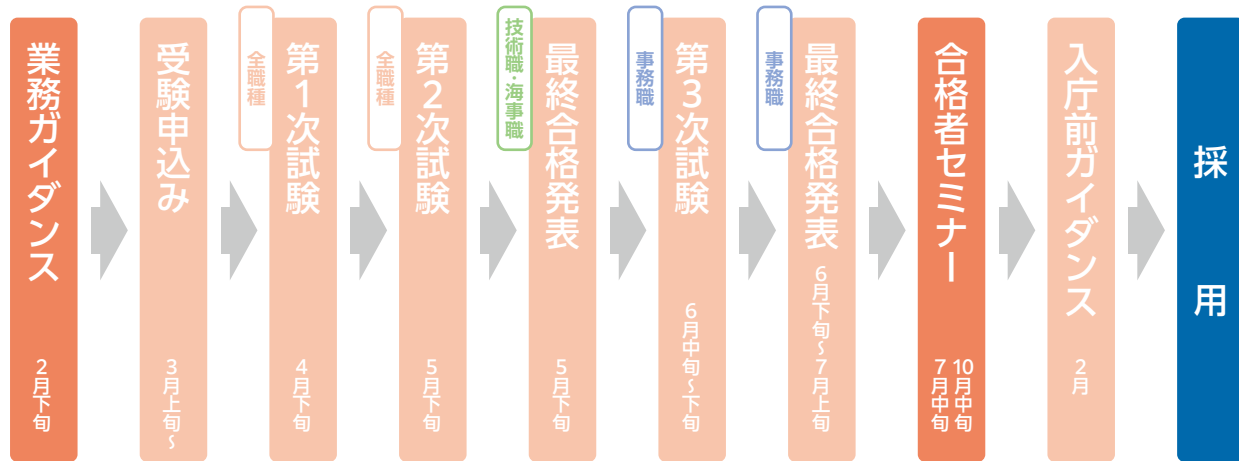


採用スケジュール



業務ガイダンス

本組合の概要や職員による業務の紹介を行います。

合格者セミナー

合格者を対象に港内見学や庁舎案内を行います。入庁前の不安を解消し、名古屋港のスケールの大きさを体験してもらいます。

試験の種類

種類	区分	問題の程度
第1類	事務(行政Ⅰ・Ⅱ)	大学卒程度
	技術(土木・建築・機械・電気)	
	海事(航海・機関)	
第3類	技術(土木・建築・機械・電気)	短大卒程度
	海事(航海・機関)	
	民間企業等職務経験者	
民間企業等職務経験者	情報処理	大学卒程度

※試験区分によっては資格・免許を必要とする場合があります。
※いずれの試験も毎年度実施するとは限りません。

令和5年度の試験結果 (令和6年度入庁予定)

試験区分	募集人数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	
事務	行政Ⅰ	2	19	3
	行政Ⅱ	4	52	5
技術	土木	3	8	3
	建築	1	0	0
	機械	1	4	1
	電気	1	2	1
海事Ⅰ種(航海)	1	5	1	
海事Ⅰ種(機関)	1	1	1	
民間企業等職務経験者(情報処理)	1	1	1	

Q & A

Q: 年齢・性別・学歴・出身地による有利・不利はありますか?
A: 一切ありません。すべての方に平等です。
Q: 「大学卒程度」の試験は大学を卒業していないと受験できませんか?
A: 「大学卒程度」の試験とは、大学卒業程度の学力を必要とする試験という意味です。年齢要件などの受験資格を満たしていれば、学歴に関係なく受験することができます。「短大卒程度」も同様です。
Q: 試験区分は昨年と同様ですか?
A: 年度によって異なります。必ず当該年度の名古屋港管理組合公報及び名古屋港のホームページをご確認ください。

Q: 仕事はデスクワークが多いですか?
A: 部署や職種にもよりますが、特に港営部や建設部は、港湾施設の管理や工事などのため外に出る仕事も多いです。
Q: 複数の試験の受験は可能ですか?
A: 複数の試験区分の申込はできません。申込時に一つの試験区分を選択してお申し込みください。
Q: 事前に港の知識は必要ですか?
A: 必要ありません。入庁してから一緒に学んでいきましょう。港のことを知りたい! もっといい港にしたい! という想いのある方、お待ちしております!

職員数
612人
(出向等含む)
(令和5年4月1日現在)

職員の構成

事務職 **318人** 技術職 **291人** 技能労務職 **3人**

土木 128 海事 40
機械 48 建築 24
電気 42 その他 9
(令和5年4月1日現在)

過去10年に入庁した職員の男女比率
39% (男性) **61%** (女性)
(令和5年4月1日現在)

職員の居住場所

県外 7.5% 名古屋市内 56.5% 愛知県内 35.9%
(令和5年4月1日現在)

職員の平均年齢
44.7歳
46.0歳 (男性) 39.8歳 (女性)
(令和5年4月1日現在)

入庁1年目職員平均年次休暇取得日数
10.2日
(令和4年度実績)

平均勤続年数
20年 (男性) **17年** (女性)
(令和5年4月1日現在)

職員の平均給与
422,132円
(令和5年4月1日現在)

平均年次休暇取得日数
16.9日/20日
令和4年の政令指定都市平均は14.9日です。
(令和4年度実績)

過去3年に入庁した職員のうち、新卒者の割合
約8割
(令和5年4月1日現在)

平均残業時間
11.3時間/月
(令和4年度実績)

女性の育児休業取得率
100%
(令和4年度実績)

女性の育児休業平均取得年数
約2年2ヶ月
(令和4年度実績)

過去10年に入庁した職員のうち、入庁後3年以内に離職した職員数
4人
(令和4年度実績)

男性の育児参加職免等取得率
100%
(令和4年度実績)

男性の育児参加職免等平均取得日数
6.2日/7日
(令和4年度実績)